

金足 下新城 上新城

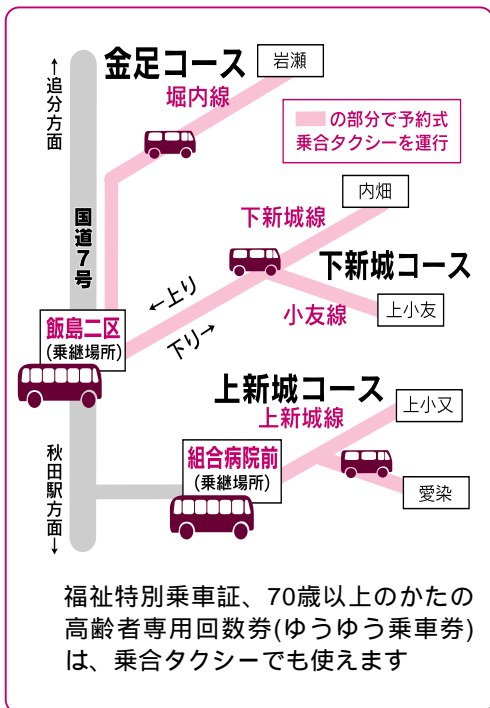
予約式乗合タクシー

4月1日出発!

利用者の減少により維持することが困難になった秋田市北部の堀内線、下新城線、小友線、上新城線のバス路線が、3月31日(月)をもって廃止されます。

それに代わる公共交通手段として昨年9月に実験した9人乗りの予約式乗合タクシーを、4月1日(火)から金足・下新城・上新城の3コースで運行することになりました。運行時刻など詳しくは、対象地域の世帯に3月末までに配布するリーフレットや市ホームページをご覧ください。なお、乗合タクシーは、地域以外のかたがこの地域を訪れる時も利用できません。

【運行コース】



福祉特別乗車証、70歳以上のかたの高齢者専用回数券(ゆうゆう乗車券)は、乗合タクシーでも使えます

利用方法

予約

予約センターに電話かファクス、Eメールで連絡します。往復または週・月単位で予約することもできます。

予約センター(午前6時~午後7時)

(865)3355

ファクス(862)0530

Eメール nokubu_taxi@kingtaxi.co.jp

自宅付近から乗るとき、上りの始発便を利用するときは前日の午後5時(ファクス、Eメールは午後4時)まで、タクシー停留所から乗る場合は当日の乗車1時間前までに予約してください。

タクシー乗車

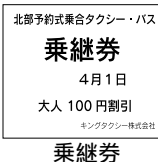
タクシーはバスの乗継場所まで運行します。タクシー料金は、乗車区間に応じて150円、250円、350円の3種類。なお、タクシーから乗継券をもらうと、当日乗り継ぐバスの料金が100円引きになります。

バスに乗り換え

乗継場所(飯島二区、組合病院)で路線バスに乗り換え、目的地に向かいます。

帰り(下り)は乗継場所までバスで戻り、乗継場所からタクシーで自宅に向かいます。なお、帰りの路線バスの整理券があると、乗り継ぐ乗合タクシーの料金が100円引きになります。

問い合わせ 交通政策室 (866)2085



4月1日から

バス時刻や料金を検索できます

(財)自治総合センターからの宝くじ助成を活用し、市内バス路線の検索システムを作りました。

4月1日(火)から、情報端末機または携帯電話で検索できます。

情報端末機で(秋田駅前発のみ)

行き先のバス停を入力すると、秋田駅前発の路線名、出発・到着時刻、料金が表示されます。

設置場所: 駅中央改札口前の観光案内所前 ぼぼろーど アルヴェ1階 インフォメーションカウンター

携帯電話で

<http://akinfo.jp/keit>
<http://akinfo.jp/keit>
aibus/



乗車バス停と降車バス停を入力すると、路線名、出発・到着時刻が表示されます。

乗り継ぎは検索できません。

交通政策室 (866)2085

4月1日(火)から、バスタイヤを一部改正します。秋田中央交通(株)営業部 (823)4413



情報端末機は秋田駅周辺3か所に

今冬の除雪



昨年は雪のない暖冬だったことから、この冬は「平成18年豪雪」後、初めて、本格的な降雪に対応しました。豪雪の教訓を生かせるかどうか、市の雪対策の真価が問われました。

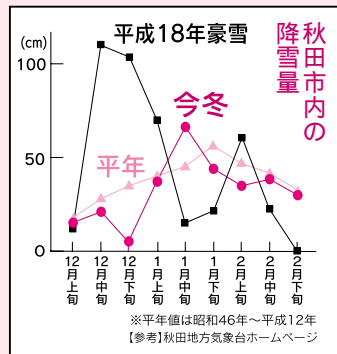


早めの排雪で次の降雪に備えました(御所野)

**18年豪雪の経験を
生かした除排雪体制。
経費は10億円超(2月末現在)**

今冬(12月～2月)は1月から降雪量が増え、中旬には平年の1.5倍の雪が降りました。それに対する市の除排雪体制は、初動の早さと地域の実情に応じた出動を重視しました。降雪量10センチという明確な出動基準を定めて迅速な出動判断をするとともに、パトロール体制を強化し、圧雪が解けて交通に支障をきたすと予想される場合は、基準に達していなくても出動しました。

その結果、2月末現在での除排雪経費は約10億円。除排雪経費は例年4～6億円、18年豪雪は別にして多い年で



も8億円程度でしたから、今冬はお金をかけてこまめに出動しました。「この程度の雪で除雪が必要か」という声もありましたが、先手を打って除雪したことで、快適な生活を確保できたと言えます。

**市民協働の除排雪を
実験しました**

市の道路の半分は幅6メートル未満と狭いため、現状ではなかなか隅々まで除雪車が入り込めません。

そこでこの冬、泉旭南、大住地区の一部の町内に、小型除雪機とトラックを常駐でお貸しし、地域のみなさんに除排雪をしていただく社会実験を行いました。



小型除雪機で除排雪(旭南)

必要な時に、必要なだけ行える市民協働による除排雪。参加者からは今後も続けたいという声をたくさんいただきました。



旭橋通り町内会(旭南)
佐々木 悟 会長

地域の絆も深まりました

除雪作業には、ふだんの町内会活動よりも参加者が多く、顔を合わせる機会が少ない若い人もたくさん力を貸してくれました。私たちにはトラックを置いておく場所がありませんでしたが、今後他の地区でも行おうなら、除雪機は常駐、トラックは排雪するときにだけ借りる、というやり方も良いと思います。

**下浜の野球クラブが
除雪ボランティア**



2月1日、下浜野球倶楽部の13人が、JR桂根駅へ通じる道や高齢者世帯を除雪しました。部員たちは、「住民の力になれたし、体力トレーニングにもなった。一石二鳥です」とニコリ。